北海道旭川永嶺高等学校

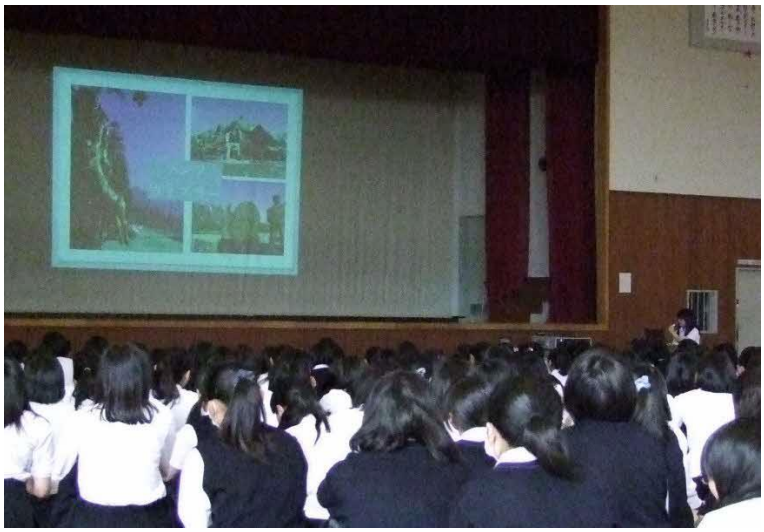
生徒数　７８２名

学級数　２０学級

職員数　　６６名

校長　清　水　公　久

－　国際的な視野を持つ社会に有為な人材の育成を目指した学校経営　－



本校は平成 28 年の開校時より、学校教育目標に「国際的な視野を持つ社会に有為な人材の育成」を掲げ、国際理解教育を推進し、地域の関係機関と連携しながら、グローバル化社会に主体的に行動できる資質・能力の育成に取り組んでいる。

特に、「Ｕ－18 未来フォーラム事業」及び「英語力向上事業」の指定校として、異文化への関心や外国語を通したコミュニケーション能力の向上に大きな成果を上げている。

ー　地域の関係機関と連携した異文化交流　ー

旭川市の JICA や国際交流委員会、東川町の日本語学校の留学生等との文化交流により、外国語を活用した積極的なコミュニケーション能力の育成に努め、これらの交流を通して、相互理解と異文化への意識の向上に取り組んでいる。

また、異文化交流では、生徒会執行部や国際クラブの生徒が中心となり、書道体験や音楽交流等言葉の壁を越えた体験的交流により、国際理解の推進に大きな成果を上げている。

ー　海外語学研修への積極的参加と留学生受入の促進　ー

道教委主催の「Hokkaido Study Abroad Program」や公益財団法人 AFS 日本協会を通して、留学生を継続的に受け入れ、外国語に触れる機会を増やすことで、旭川市国際交流委員会主催の海外青少年交流事業など、語学研修に挑む生徒の割合が増加している。

また、英語検定等の資格取得に挑戦する生徒も着実に増えており、グローバルな視野を育成することで、外国語学習の意欲向上と進路実現に大きな成果を上げている。

ー　保護者や地域の期待に応える教育活動の充実　ー

「本校は、平成 28 年の開校以来、教育目標に掲げる『国際的な視野を持つ社会に有為な人材育成』に向け、生徒が留学体験報告会や外部講師を招聘した講演会等、海外に目を向けるための取組を数多く実施しております。

本校が目指す方向には保護者も共感しておりますので、今後とも継続して国際理解教育を推進していただき、世界で活躍できる生徒を育んでいただきたいと思います。」

（保護者の声）